

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	人間工学特論第二		
英文授業科目名	Topics in Ergonomics 2		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	北島 宗雄		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kitajima@nibh.jp	<a href="http://staff.aist.go.jp/kitajima.muneo/index(J).html">http://staff.aist.go.jp/kitajima.muneo/index(J).html</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>情報・通信技術が発展するなかで、人間と情報機器・情報環境とのインタラクションを適切に捉え、理解することが必要になってきている。本講義では、社会科学から情報技術までの幅広い分野を含むヒューマンコンピュータインタラクションにおけるさまざまな理論、モデル、フレームワークを学ぶことにより、広い視野から情報機器・情報環境を捉える力を獲得させる。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
HCI Models, Theories, and Frameworks: Toward a Multidisciplinary Science, edited by John M. Carroll, Morgan Kaufmann Publishers, 2003

<b>【授業内容とその進め方】</b>
輪講形式で授業を進める。

<b>【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】</b>
レポートにより評価する。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【オフィスアワー：授業相談】

### 【学生へのメッセージ】

人間の認知行動を広い視野から見られるようにすることは、ネットワーク化された社会で活動する上で、極めて重要なスキルである。講義で取り上げるヒューマンコンピュータインタラクションは、学際的な分野であり、さまざまなモデル、理論、フレームワークに基づいて、人間とコンピュータとのインタラクションに関する研究が進められていることから、そのスキルを獲得するのに極めて適している。輪講は、広い視野から見られる力を育てることを重視して、進める。

### 【その他】